



仙台市武道祭開催

10月19日(日)に仙台市青葉体育館を会場に『仙台市武道祭』が開催されました。競技参加拳士は、加藤悠澄拳士の単演のみではありませんでしたが、他の所属拳士の組演



2025.10.19 仙台市武道祭終了後に (青葉体育館)

武や団体演武も見ることができ大変勉強になったものと思います。
来年に向けて頑張ります。参加いただいた皆さんお疲れ様でした。

年末年始の予定について

年末年始の予定を次の通り予定しておりますので、宜しくお願い致します。

○道院大掃除&忘年会↓12月27日(土)

○新春法会↓1月12日(月:成人の日)

大澤隆管長 縁起

仲間とともに灯を掲げる

11月にはいりました。先月、本山では達磨祭が盛大に執り行われました。今年は「千本突チャレンジ」と題し、師家を先頭に、全国から集まった拳士たちが一丸となって挑みました。会場に響く気合と太鼓の音、そこに生まれた一体感は、まさに「人が集う力」「仲間の力」を実感させるものでした。また、東京別院で行われた中堅道院長“鍛錬”特別合宿も熱気にあふれ、多くの参加者が仲間の熱意に刺激を受け、地元に戻って今以上にがんばってやっていこうという思いを胸に帰路につきました。ともに汗を流し、語り合い、互いを高め合う姿に、人づくりの原点を見る思いがいたしました。

金剛禅の修行は、単に技や知識を身につけることが目的ではありません。人をよい方向へ変え、そして共に幸せを築くための手段です。釈尊の教えをよりどころに、達磨大師の修行法によって身心を鍛える。それは「人間完成」を目指す道であり、人と人との信頼の中でこそ深められる修行です。この10月の行事を通じて改めて感じたのは、「一人では幸せになれない」という



2025.10.19 仙台市武道祭での全体演武 (青葉体育館)

今後の予定

- ◎11月 9日(日) 鎌田礼二の三祝会(ホテルグランドパレス塩釜)
- ◎12月14日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎12月25日(木) 稽古納め(塩竈道院専有道場)
- ◎12月27日(土) 塩竈道院専有道場大掃除&道院忘年会

ことです。仲間がいてこそ、自分の心が照らされ、行動にも灯がともります。互いに励まし合い、信頼し合う関係こそ、金剛禅が大切にしてきた「人づくりの根幹」です。

時代に目を向ければ、先月、日本では高市早苗氏が初の女性首相として就任し、新しい時代の幕が開かれました。女性が社会のリーダーとして力を発揮することは、ま



稽古の合間の絵本タイム

さに「多様な人が共に支え合う社会」を象徴する出来事です。本教団でも、多くの女性道院長が各地で活躍しています。これからも、性別や立場を超えて、一人ひとりが自信を持ち、仲間とともに道を切り拓いていけるよう期待しています。

人は仲間を支えられ、また仲間を支えることで成長します。修行も人生も、その繰り返しです。冬の訪れとともに寒さが増していきますが、どうか心の灯を絶やすことなく、仲間とともに前を向いて歩みを進めていきましょう。残る二か月が、皆さまにとって実り多い修行の時期となりますように。

中国古典 紹介

黙してこれを成し、言わずして信あるは

徳行に存す

『易経』

あえて命令しなくても仕事は順調に座していても人々の信頼を集めることのできるのは、地位や能力で部下を使うやり方ではなく、その人のもっている人間的魅力によつて部下を引っぱっていくやり方である。いさ

さか迂遠なやり方ではあるかもしれないが、組織がピンチに立たされたときなど、このほうがはるかに威力を発揮するするかもしれない。

ない。

地位や能力で部下を使おうとすれば、命令には従わせることはできないかもしれないが、心服はされない。そういう部下は、何か事が起こると、直ぐに離れていく。離れていく部下が悪いのではない。かれらの心をとれられないリーダーの側に責任があるのだ。

そうならないためには、リーダーたる者、ふだんから徳を養い、その徳によつて部下を動かすことを心がけなければならない。

年少拳士の稽古で

